

次の文を読み1～3の問いに答えよ。

Aさん(60歳、男性)は、建設作業員である。10年前に高血圧を指摘され内服治療を行っていたが自己判断で治療を中断し、食事療法も守っていなかった。職場の健康診断で腎機能低下を指摘され、検査のため受診した。

1 来院時の血圧169/78mmHg、尿たんぱく(+)血清クレアチニン2.9mg/dl、eGFR19ml/分/1.73m<sup>2</sup>であり、腎硬化症が疑われ、検査のため入院した。確定診断のための検査はどれか。

- 1, PSP検査
- 2, 腎盂造影
- 3, 尿細胞診
- 4, 腎生検

2 検査の結果、腎硬化症で慢性腎臓病(CKD)ステージ4と診断され、ACE阻害薬による血圧コントロールが行われるようになった。Aさんは、「肩こりくらいで別に悪いところはないと思っていたのに。薬は飲むのをすぐ忘れちゃうから続かないんだよね」と不満げである。Aさんに対するアセスメントで最も適切なのはどれか。

- 1, 眼底検査で異常がある可能性が高い
- 2, 今後、早期に呼吸困難が生じる可能性が高い
- 3, 食塩摂取量の目標は1日6～8gである
- 4, 週1回通院して血圧測定を行う必要がある

3 退院後Aさんは、内服治療を守らず、食事療法も守らなかった。数年後、動機、頭痛、めまいがひどくなり、倦怠感が強く、食欲不振および浮腫が出現したため受診した。

血液検査データは、血清クレアチニン4.0mg/dl、eGFR13ml/分/1.73m<sup>2</sup>であり、入院して血液透析を行うことになった。透析中のAさんに対して注意して観察するのはどれか。2つ選べ

- 1, 頭痛
- 2, 腹部膨満
- 3, 筋痙攣
- 4, ヘルニア
- 5, 皮下疼痛

次の文を読み4～6の問いに答えよ。

Aさん(20歳 男性)はオートバイの運転中に交通事故にあい、病院に搬送されてきた。頸椎を固定したまま仰臥位での頸椎4方向エックス線撮影が行われ、第6頸髄の損傷が確認された。

4 受傷当日のAさんにみられる可能性が高い症状はどれか。

- 1, 血圧上昇
- 2, 尿閉
- 3, 関節拘縮
- 4, 間代性痙攣

5 Aさんに生じる麻痺はどれか。

- 1, 四肢麻痺
- 2, 対麻痺
- 3, 片麻痺
- 4, 単麻痺

6 受傷から2週間が経過した。Aさんは自分が動けないことにいら立ち、家族の面会にも声を荒げるようになった。看護師にも拒否的態度がみられる。

Aさんのアセスメントで最も適切なのはどれか。

- 1, 障害を他人事のように感じている
- 2, 回復への期待が高まっている
- 3, 障害を認識している
- 4, 障害を受容している

次の文を読み 7～9 の問いに答えよ。

A さん(70 歳 男性)は、1 か月ほど前に飲酒した際にトイレで転倒し、壁で頭部を打撲したが、その時は意識障害もなく、その後も普通に過ごしていた。今朝、頭痛を訴え右上肢の麻痺と失禁が見られ、発語がないため救急車で病院に運ばれた。

7 CTにより左側頭部全体に三日月状に近い硬膜下血腫が確認された。A さんの状態で正しいのはどれか。

- 1, 高血圧が原因である
- 2, 急激に脳浮腫が増大する
- 3, 血種除去により完治する
- 4, 頭骨の骨折を合併している可能性が高い

8 入院した当日、穿頭血種洗浄術による血種除去が行われることになった。手術前の看護で適切なのはどれか。

- 1, 浣腸を行う
- 2, 呼吸訓練を行う
- 3, 頭部を冷却する
- 4, 酸素吸入を行う

9 術後、創部にドレーンが留置された。手術当日に最も注意して観察する項目はどれか。

- 1, 再出血
- 2, 発熱
- 3, 失禁
- 4, 記憶障害

次の文を読み 10～12 の問いに答えよ。

A ちゃん(11 か月、女兒)は保育園に通っていて、な 3 歳になる兄がいる。4 日前から鼻汁、咳および発熱が続いていたため、小児科を受診したところ、麻疹と診断された。

10 A ちゃんにみられる症状はどれか。

- 1, 水疱
- 2, 口腔内アフタ性潰瘍
- 3, コプリック斑
- 4, レプリーゼ

11 A ちゃんの母親に対しての指導で適切なのはどれか。

- 1, ジュースやアイスクリームなどの糖分の多いものは制限する
- 2, 発疹が消失するまで皮膚には触らない
- 3, 室内の湿度を高く保つ
- 4, 兄とは隔離した部屋で静養させる

12 A ちゃんの兄は同じ保育園に通っている。兄は 1 歳の時に麻疹の予防接種を行っていて、現在、症状は見られてない。A ちゃんの兄についてのアセスメントで最も適切なのはどれか。

- 1, ただちに麻疹ワクチンの接種が必要である
- 2,  $\gamma$ -グロブリンの投与を行う
- 3, 現在発症していないので、感染していないと考える
- 4, 保育園は休ませなくてよい

次の文を読み 13～15 の問いに答えよ。

A さん(34 歳 初産婦)は会社員で、結婚して 8 年である。2 年前から不妊治療を受けていて妊娠が判明した。妊娠 10 週での超音波の結果、1 絨毛膜 1 羊膜双胎(MM 双胎)と診断された。

- 13 A さんの妊娠・分娩について適切なのはどれか。
- 1, 流産が多くなる
  - 2, 出血量は多くなる
  - 3, 経膈分娩が基本である
  - 4, 後陣痛は少ない
- 14 A さんに対する妊娠初期の指導で適切なのはどれか。
- 1, 積極的に活動してつわりを防ぐ
  - 2, 絶対安静にする
  - 3, 鉄分の補給を充分に行う
  - 4, 高エネルギー食を摂取する
- 15 A さんに対する妊娠中期の指導で適切なのはどれか。
- 1, マタニティスポーツを勧める
  - 2, 里帰り出産の病院を確認する
  - 3, 産休は妊娠 30 週から取れると説明する
  - 4, 水分摂取を控えるように指導する。

次の文を読み 16～18 の問いに答えよ。

A さん(40 歳 初産婦) は専門学校の教員である。結婚して 10 年目に妊娠した。現在妊娠 14 週である。「子供は欲しかったが、仕事もあるので積極的に考えていませんでした。周囲から子どもはまだかと言われ続けて、プレッシャーもありました。妊娠してうれしいが、高齢出産になるのでいろいろ心配です」という。

16 A さんは「親戚から高齢なので羊水検査を受けた方がいいと言われました。夫は受けなくてもよいといっています。検査を受けるかどうか迷っています」と言う。

A さんの対応で最も適切なのはどれか。

- 1, 年齢的には受けるべきであると助言する
- 2, 染色体異常以外にもリスクはあるので、受けなくてもよいと伝える
- 3, 夫婦で相談して決定することを勧める
- 4, 親族会議で決定することを勧める

17 妊娠 30 週 6 日の健康診査時、体重 60kg、子宮底長 26 cm、腹囲 80 cmであった。身長 163 cm、非妊時体重は 55kg である。 血圧 150/95mmhg,尿蛋白(-)、尿糖(±)、浮腫(-)、Hb11.5 g/dl、Ht38.0% 胎児心拍数 150BPM であり、緊急入院となった。

A さんのアセスメントで最も適切なのはどれか。

- 1, 高度の貧血である
- 2, 妊娠糖尿病である
- 3, 胎児機能不全である
- 4, 胎盤機能不全である
- 5, 妊娠高血圧症候群である

18 妊娠 31 週 4 日、血圧が 190/100mmhg に上昇し、陣痛促進薬による陣痛誘発が開始となった。破水したが 12 時間たっても娩出が見られなかったため、帝王切開が行われた。児の体重は 1800g で保育器に収容された。A さんは「高齢出産で気を付けなければいけなかったのに、ついつい仕事を優先してしまって、身体に無理がかかっていたのでしょうか。帝王切開になってしまって赤ちゃんに申し訳ない」と言う。

A さんへの対応で最も適切なのはどれか。

- 1, 「もう終わったことは忘れましょう」
- 2, 「お産の経過を振り返ってみましょうか」
- 3, 「お産の経過を振り返ってみましょうか」
- 4, 「搾乳の練習をしましょうか」
- 5, 「赤ちゃんが小さいから心配ですね」

次の文を読み 19～21 の問いに答えよ。

A さん(30 歳 女性)は、27 歳で婚約したが、結婚式直前に婚約者である男性に女性問題が生じた。話し合いと周囲の説得で予定通り結婚したが、そのころから手洗いを繰り返すようになった。特にトイレの時には入念に手を洗わないと気が済まなくなった。その後も症状が進み、手洗いを始めると 2 時間洗い続けるようになった。手が汚れるのを気にして、トイレに行かなくて済むように飲食や食事を拒むようになり、脱水症状を起こして意識を失い、救急車で運ばれそのまま入院となった。

19 A さんには入院後、点滴が行われたが、食事は拒否している。

A さんに対する看護師の対応で適切なのはどれか。

- 1, 「食事をとらないと身体に良くないですよ」
- 2, 「そもそも人間はそんなにきれいな存在ではないですよ」
- 3, 「病院内は清潔なので安心ですよ」
- 4, 「食事をするとトイレに行かなければならないと不安になってつらいのではないですか」

20 A さんに対してカウンセリングが行われ、フルボキサミン(SSRI)の内服と認知行動療法が開始されることになった。開始直後の観察項目で優先度が高いのはどれか。

- 1, 食欲亢進
- 2, 便秘
- 3, 尿閉
- 4, 発汗

21 A さんに対して暴露反応妨害法が開始された。

この治療の説明について適切なのはどれか。

- 1, SST の 1 つである
- 2, 精神分析を行う
- 3, 汚いと思うものを触って手を洗わないで我慢する訓練である
- 4, 治療開始は絶対臥褥期で始まる

次の文を読み 22～24 の問いに答えよ。

A さん(19 歳 女性)は、昨年春に大学に入学し、アパートに 1 人暮らしをしていた。入学当初は活発にサークル活動に参加していたが、夏休みに帰省して秋に大学に戻ってから通学できなくなり、食事も極度に制限して著しく体重が減少した。連絡が取れなくなって心配した両親がアパートを訪ねて A さんの様子がおかしいことに気づき、自宅に連れ戻してさまざまな病院を受診させた。A さんは精神科で境界性パーソナリティ障害と診断され、その後通院治療していたが、過食と嘔吐が激しくなり母親に対する攻撃も激しくなるなど精神運動性の興奮が続いたため、入院となった。

22 病棟に移動する前に、A さんは外来の看護師に対して、「あなたは私の話をきいてくれて信頼できる。入院したら不安なので、メールアドレスを教えてください」と訴えるように懇願してきた。

看護師の対応で適切なのはどれか。

- 1, 「私でよければいつでもメールしてください」
- 2, 「外来に話しに来てください」
- 3, 「主治医に相談してみます」
- 4, 「大丈夫、私も病棟のスタッフもあなたの話を聞きますよ」

23 入院当日、A さんには新しいリストカットの跡が多数あった。病棟看護師の対応で適切なのはどれか。

- 1, リストカットをするのは心配だと告げる
- 2, リストカットした場合のルールを告げる
- 3, 「話を聞いてほしい」と言ってきた場合は時間を設定する
- 4, リストカットをほのめかしても無視する

24 入院して 1 週間後、A さんは病棟内の公衆電話を使って外来に電話をかけてきた。「B 看護師は本当にひどい。おやつを全く食べさせてくれない。隠れてあめ玉 1 個食べただけで激怒された。許せない。こんなところ入院しているのはもう耐えられない」と訴えてきた。外来看護師の対応で適切なのはどれか。

- 1, 「それはひどいですね。同感です。」
- 2, 「我慢することが治療になるのです」
- 3, 「主治医に相談してみましょう」
- 4, 「退院した方がいいかもしれませんね」



次の文を読み 25～27 の問いに答えよ。

A くん(11 歳 男児)は痙直型脳性麻痺で対麻痺があり、車椅子を利用している。両親と 3 人暮らしで、特別支援学校に通学している。

25 A くん(11 歳 男児)の障害について正しいのはどれか。

- 1, 上肢の運動障害が見られる
- 2, 重度の知的障害を合併する
- 3, 痙攣発作を繰り返す
- 4, ポリオの予防接種が原因となる
- 5, 出生時の脳の損傷が原因となる

26 A くんが取得している手帳はどれか。

- 1, 療育手帳
- 2, 身体障害者手帳
- 3, 精神保健福祉手帳
- 4, 健康管理手帳

27 A くと両親の希望により、中学校は地元の普通学校に通学することになった。

A くんの通学時の移動を支援する障害者総合支援法によるサービスはどれか。

- 1, 介護給付
- 2, 訓練等給付
- 3, 地域生活支援事業
- 4, 自立支援事業

次の文を読み 28～30 の問いに答えよ。

A さん(75 歳 女性)は骨粗鬆症による腰椎椎体骨折で入院中である。不眠を訴えているために、就寝前に睡眠導入剤を内服している。

28 本日夕方、薬剤部から病棟に内服薬が届けられた。新人看護師は、A さんの内服薬を与薬カートに時間ごとに分け、就寝前用のものを A さんに渡した。A さんは、「このお薬は、同じでしょうか。大きさが少し違うような気がします」と言った。

A さんに対する看護師の対応で最も適切なのはどれか。

- 1, 処方された薬なので飲むように伝える
- 2, 量が変わったのかもしれないと伝える
- 3, 後で医師に確認すると伝える
- 4, 薬を受け取り、処方箋を確認すると伝える

29 A さんは薬を内服せず、新人看護師はナースステーションに戻った。先輩看護師に確認して報告した結果、A さんが以前から飲んでいて睡眠導入剤フルニトラゼパムが処方されず、定型抗精神病薬ハロペリドールが処方されていることが分かった。直ちに医師に処方を変更してもらい、新たに病棟に届いた処方薬を A さんに内服してもらった。

その後、先輩看護師が行う対応として適切なのはどれか。

- 1, 医師の過失なので、インシデントレポートは不要であると伝える
- 2, 新人看護師に医療事故報告書を書くように指示する
- 3, 病棟看護師長に状況の報告を行う
- 4, 再発防止のために新人看護師を与薬業務から外す

30 今後、同じトラブルを回避するために、新人看護師が最も注意すべきことはどれか。

- 1, 予約時間を確認する
- 2, 患者の名前と処方箋を確認する
- 3, 薬剤の用法を確認する
- 4, 処方箋の薬剤量を確認する
- 5, 処方箋の使用目的を確認する